

平成二七年度 第四回登山教室

芝草山 標高一、三四一m



野岩鉄道 中三依駅から望む芝草山

平成27年10月25日(日)7時30分 那須野ヶ原ハイモニーホールを参加者5名(受講者はなし)で出発した。途中塩原溪谷の紅葉が始まり、尾頭トンネル辺りでは最盛期となっており、8時25分に太郎温泉山宿観峰跡駐車場に到着した。今回の山行は、荒海山の予定であったが、九月中旬の関東東北豪雨により林道・登山道がいたる所で崩壊しており登頂が不



33号鉄塔下にて

となるため、西高東低の冬型気圧配置の影響で時折冷たい強風が吹き荒れてきた。しかし登っていくにつれ登山道では木の葉が沢山落ちていて、サクサクと心地よい音を感じながら、

可能なため芝草山に変更したものです。駐車場付近を流れている入山沢では道路が冠水し土砂が堆積しており、橋には根こそぎ流された大きな木が乗ったままになっていて豪雨の凄まじさを感じた。駐車で登山の準備をし、8時40分出発して直ぐに登山口となっていてユニークな冷蔵庫の登山届ボックスがあり中のノートに記入して入山した。最初は、紅葉が始まった緩やかな東斜面を気持ちよく



冷蔵庫を利用した登山届ボックス



紅葉真っ盛りの大岩

良く整備された東電巡視路と分かれ、やせ尾根の登山道に入り10時30分大岩の下に到着した。ここは巨岩の間にロープが張ってあったが、高さが30m位あり、訓練を兼ねて補助ロープで確保して通過した。大岩の頭からは中三依の集落が見え、登山道周辺では緑の苔と岩団扇の群落が続き来春が待ちどうしい。

標高一、二〇〇m付近からは真っ赤に染まっていた羽団扇楓も落ち始め、太い樫が多くなり、時折荒海山方面より灰色の雲が流れてきて強風に混じり雪もわずかに舞った。

一、二七〇m地点からは急勾配の直登となり、木の枝や笹をつかみ滑落に注意しながら11時35分芝草山頂に到着した。頂上からは、荒海山・日光連山・高原山等が見えたが、強風が吹き止まないのので

集合写真を撮り早々に下山を開始し、風が弱くなった大岩の手前で木の葉の座布団に座り風食を摂った。

下山も登りと同じルートのため順



なかなか手強い斜面です



芝草山山頂にて

調に進み、大岩の岩場でもスムーズに下降でき、14時に33号鉄塔で小休止して、14時40分駐車場に無事下山した。本日出会った登山者は2名だけで静かな山行となった。

帰路では、野岩鉄道中三依温泉駅のホームから本日登った芝草山(三依富士)の均整のとれた美しい山容を見納めして、16時55分ハイモニーホール到着しました。

(薄井隆男 記)



- と き 平成 27 年 10 月 25 日 (日)
- と ころ 芝草山 (1, 342m : 栃木百名山)
- てんき 晴れ (風強し)
- 参加者 藤田 (CL)、海津 (SL)、薄井 (報告)、大金 (記録)、頼高 (会計)、荒木 (撮影)

○ コースタイム

那須野ヶ原 HH=太郎山宿観峰一駐車場一登山口 (冷蔵庫型) 一第 33 号鉄塔一大岩一
 07:30 08:25 09:00 09:05 09:25 10:30
 大岩の頭一 芝草山 一大岩の頭 (昼食) 一大岩一鉄塔一登山口一中三依駅一湯の香塩原一
 10:40 11:35~50 12:30~50 13:20 14:05 14:40 15:00~10 15:50~16:20
 那須野ヶ原 HH
 16:55

藤田謙三 記

